

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

国際関係学部 国際関係学科

国際関係学部国際関係学科は、環日本海に位置する本学の地理的条件を活かして、多文化共生や地球規模の諸課題に対する深い洞察力を育成し、もって世界に開かれた地域社会の実現と国際社会の平和的発展に寄与することを理念とします。この理念の下、多様な世界観が併存する北東アジアをはじめとする国際社会に平和と安定をもたらすために尽力する人材の育成を教育目標とします。

島根県立大学のディプロマ・ポリシーの下、国際関係学部国際関係学科では、この理念と教育目標に定める人材を育成するために、定められた年限在学して所定の単位を修得し、国際関係学部国際関係学科において定める専門分野に関する以下の能力を有すると認められた学生に学士（国際関係学）の学位を授与します。

1. 知識・理解

(1) 社会科学・人文学の諸科学における国際関係あるいは多文化コミュニケーションに関わる専門的知見を体系的に理解することができる。

(2) グローバル化に伴い、複雑に展開する国内外の問題を、社会科学・人文学の学術的観点からの確に理解することができる。

2. 思考・判断

(1) 多文化共生や地球規模の諸課題の解決策を構想できる。

(2) グローバル化した国内外の多文化社会における複雑化した問題について、政治経済・社会動向・歴史・文化に関わる知識を手がかりにして分析的に探求できる。

3. 態度・実践

異質な意見を持つ多彩な他者とも対話・協働し、異文化への共感力を養い、能動的に合意形成を試みる姿勢を身につけている。

4. 技能・技術

(1) 多文化共生や地球規模の諸課題について、適切な学術的方法や専門的視角に基づいて調査、分析、研究を行い、その成果について、他者にわかりやすく論理的に説明することができる。

(2) 英語や北東アジア言語（中国語・韓国語・ロシア語）をコミュニケーション・ツールにして情報発信する外国語活用能力を身につけている。

地域政策学部 地域政策学科

地域社会やその関連する領域において、さまざまな地域の関係者とコミュニケーションをとりながら協力・協働し、企業や自治体、社会などの問題解決と地域の自律的・持続的発展に寄与することのできる人材として、次の能力を身につけた者で、定められた年限在学し、所定の単位を修得した者に学士（地域政策学）の学位を授与します。

1. 知識・理解

社会科学・人文科学系の学問領域を中心として幅広い知識を修得し、それらの知識を活用しながら、地域の諸課題について多面的に理解することができる。

2. 思考・判断

世界、そして日本全体の政治・社会・経済の動向を見据え、多様な知識を融合・活用しながら、地域の諸課題に対する解決策を構想することができる。

3. 態度・実践

地域の自律的・持続的発展に向けた政策構想について、倫理的妥当性と実現可能性、そして地域社会との協働を視野に入れた議論を展開することができる。

4. 技能・技術

地域の諸課題について、多様かつ広範な視点から調査・考察し、その成果を、自律した個人として、他者に分かりやすく、論理的に発信することができる。

総合政策学部 総合政策学科

島根県立大学総合政策学部は、ディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）を次のように定め、卒業要件として以下の知識・能力を身につけることを要請しています。

1. 社会科学・人文科学の基本的知識を身につけ、それらを有機的に結びつけて理解すること。
2. 主体的に問題を発見・整理し、適切な解決策を導き、それを説得的に提示する能力を身につけること。
3. 国際化・情報化に対応したコミュニケーション能力を身につけること

看護栄養学部	
看護学科	健康栄養学科
<p>看護栄養学部は、看護学もしくは栄養学の基礎的な知識・技術を修得し、科学的かつ倫理的な判断に基づく実践能力を身につけることを要請しています。</p>	
<p>看護学科では、所定の期間在学し、所定の単位を修得することで、以下の要件を満たしたと認められる学生に対し、学士（看護学）の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎的な専門知識と技術を身につけ、科学的かつ倫理的判断に基づく看護実践ができる能力を備えている 2 人の生き方や価値観を尊重し、援助関係が形成できる能力、また多職種と協働・連携する能力を備えている 3 地域特性を理解して多職種と協働・連携し、人々の健康上の課題解決を図る基礎的能力を備えている 4 研究的な姿勢を持ち、人々の健康の維持・増進に寄与する能力を備えている 	<p>健康栄養学科では、所定の期間在学し、所定の単位を修得することで、以下の要件を満たしたと認められる学生に対し、学士（栄養学）の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 管理栄養士に必要とされる高度な専門知識を身につけている 2 世界及び地域における多様な風土や食文化と健康との関わりについて理解できる 3 健常者及び傷病者に対し、科学的根拠に基づく適切な栄養管理・栄養療法を行うことができる 4 保健・医療・福祉・教育等の分野における関連職種との効率的な連携や適切なコミュニケーションをとることができる 5 専門的な情報を効率よく収集し、科学的な根拠に基づいて分析し、その結果を適切に表現することができる 6 対象者の特性やライフステージに合致した適切な栄養教育ができる 7 管理栄養士としての職業倫理に基づいた責任ある行動をとることができる

人間文化学部	
保育教育学科	地域文化学科
<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間と文化について広い視野を備え、多様性を理解することができる。 <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における人間の生き方や文化の様態について、自ら価値を見出すことができる。 <p>[関心・意欲・態度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々と協働して地域社会に貢献しようとする態度を身に付けている。 	
<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育・教育及び関連する諸分野に関する専門的な知識及び技能を身に付けている。 ・乳幼児期から児童期までの子どもの発達に関する課題を論理的に理解できる。 <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育・教育に関する諸課題について多様な角度から考察し、自ら主体的に課題解決に向けた思考判断ができる。 ・学修した専門的知識と技能を、言葉、文章、図表、身体表現等の多様な方法によりの確に表現することができる。 <p>[関心・意欲・態度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団活動において、協同的に活動して成果を上げる姿勢とコミュニケーション力を有する。 ・地域社会において、保育者、教育者としての役割を果たすことができる人権感覚、倫理観、職業観を身に付けている。 	<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や時代の異なる様々な文化に関する専門的な知識を身に付けている。 ・国際化に対応した語学力を身に付けている。 ・地域において実践活動を行う方法・技能を身に付けている。 <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の生き方や文化について主体的に考えを深め、課題を見出すことができる。 ・情報を取捨選択しながら論理的に課題に取り組むことができる。 ・言語を通して正確に意思の疎通を図ることができる。 <p>[関心・意欲・態度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異なる文化、異なる地域で暮らす人々に対する寛容の精神と態度を身に付けている。 ・地域の暮らしと文化に誇りを持ち、地域の文化を支えていく意欲がある。 ・地域社会において人々と協調・協働しながら課題に取り組む態度を身に付けている。

北東アジア開発研究科

【博士前期課程】

北東アジア専攻

北東アジア地域全般にわたる広い知識を身につけ、この地域に存在する現実の問題を把握・分析する能力を備えること。

地域開発政策専攻

地域政策についての高い問題意識に基づき、地域に存在する現実の問題を把握・分析し政策提言する能力を備えること。

【博士後期課程】

北東アジア超域専攻

北東アジア研究や地域開発研究に関し、北東アジアについての総合的な専門知識と言語能力を活かしながら、新しい有効な学問・方法論を創出し運用する能力を身につけること。

看護学研究科

【博士前期課程】

<研究者養成コース>

博士前期課程では、所定の期間在学し、所定の単位を修得するとともに、学位論文審査に合格し、以下の要件を満たしたと認められる学生に対し、修士（看護学）の学位を授与します。

- ①高い倫理観と広い視野で看護の課題を科学的に探求し、患者及び家族・住民が自ら課題解決を図れるよう、介入できる看護実践能力を備えている。
- ②長期的展望をもって、患者及び家族・住民の状況を踏まえた最適な保健・医療・福祉サービスを統合して提供できるよう、多職種多機関とのコーディネート能力を備えている。
- ③過疎・高齢化が進展する中山間地域・離島における健康課題に関心をもち、課題解決に向けて主体的に取り組む能力を備えている。
- ④問題意識をもって看護現象を分析し、論理的に探求できる研究力を備えている。

<高度実践者養成コース（助産学領域）>

博士前期課程高度実践者養成コース助産学領域では、所定の期間在学し、所定の単位を修得するとともに、課題研究論文審査に合格し、以下の要件を満たしたと認められる学生に対し、修士（看護学）の学位を授与します。併せて、助産師国家試験受験資格も与えられます。

- ①高い倫理観と明確な看護観をもち、科学的根拠に基づいた優れた判断力と実践力を備えている。
- ②離島・中山間地域をかかえる島根県の周産期医療を維持するために、ハイリスクケアを含むすべての症例に助産ケアを提供できる優れた助産実践能力及び指導的能力を備えている。
- ③地域社会の子育て世代とその家族の健康課題を理解し、包括支援ができるための優れた助産実践力、多職種多機関とのコーディネート力を備えている。
- ④助産学における課題を論理的に解決できる研究能力を備えている。

<高度実践者養成コース 診療看護師（NP）プライマリ・ケア領域>

博士前期課程高度実践者養成コース診療看護師（NP）プライマリ・ケア領域では、所定の期間在学し、所定の単位を修得するとともに、研究論文審査に合格し、以下の要件を満たしたと認められる学生に対し、修士（看護学）の学位を授与します。併せて、一般社団法人日本NP教育大学院協議会の診療看護師（NP）資格認定試験の受験資格も与えられます。

- ①在宅、施設、慢性期病棟などで、療養者の状態変化や、慢性疾患をもつ患者に対して、看護学と医学の視点から包括的なアセスメントを行い、的確な臨床判断、治療の管理、治療効果の評価を自律的、かつ必要に応じて多職種と協働で実施できる能力を備えている。
- ②個人や家族の価値観、意思決定を重視してQOL（生活の質）向上を目指し、倫理に基づく、統合的なプライマリ・ケアが提供できる能力を備えている。
- ③多職種と協働して安全・安心な医療に貢献できる能力を備えている。
- ④実践の場にある課題について、論理的に探究できる能力を備えている。

プライマリ・ケアの分野で求められる特定行為研修として厚生労働省令に定める 21 区分 38 行為のうち 8 区分 12 行為の研修を行います。

特定行為区分	特定行為
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）	気管カニューレの交換
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
	膀胱ろうカテーテルの交換
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
	脱水症状に対する輸液による補正
感染に係る薬剤投与関連	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリン投与量の調整
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん薬の臨時投与
	抗精神病薬の臨時投与
	抗不安薬の臨時投与

【博士後期課程】

- ①看護専門職者として必要な高い倫理観と論理的思考力をもち、看護学の発展に寄与する研究を自律して行える。
- ②生涯にわたり研鑽の必要な看護教育学に精通し、高度な専門的知識・技術と教育指導力をもって質の高い教育を展開できる。
- ③過疎・高齢化が進展する中山間地域・離島地域における健康課題を把握し、健康栄養など地域のニーズに合った保健・医療・福祉施策の進展に向けた研究的取り組みができる。
- ④看護ケアが提供される場に関与する多様な要因を把握して、看護提供システムの改善・改革を目指した研究を指導できる。
- ⑤看護の専門分野における多様かつ複雑な問題の研究的解明とその成果を適用しつつ、多職種と連携し研究活動を推進できる。